

各 位

会 社 名 株式会社ストライダーズ
代表者名 代表取締役社長 早川 良一
(JASDAQ・コード9816)
問合せ先 常務取締役兼CFO 若原 義之
電 話 03-5777-1891

スリランカにおける統合型リゾート施設に関わる覚書締結のお知らせ

当社は、平成 28 年 8 月 4 日開催の取締役会において、以下のとおり、スリランカ民主社会主義国においてカジノ事業を運営している Rank Holdings (Private)Limited(住所:9 15th Lane, Galle Road, Colombo, Sri Lanka、会長:Ravi Wijeratne、以下「ランカグループ」という。)と当社の現地合弁会社 Strider Capital Asia (Private) Limited(住所:#21-01, World Trade Center, Echelon Square, Colombo 1, Sri Lanka、CEO:Stefan Abeysinhe)は、同国のコロombo市内における統合型リゾートホテルの建設および運営に関する覚書を締結することを決議しましたのでお知らせいたします。

1. 覚書締結の理由

当社は、平成 26 年 8 月にスリランカの当社パートナーである Asia Capital PLC(住所:#21-01, World Trade Center, Echelon Square, Colombo 1, Sri Lanka、グループ CEO:Stefan Abeysinhe、以下「アジアキャピタル社」という。)と業務提携を締結し、日本国内でも導入が検討されている IR(Integrated Resort、カジノを含む統合型リゾート施設)の将来像を見通すため、スリランカにおけるカジノ産業の展開について共同で調査・研究を進めてまいりました。

スリランカは、2009 年の内戦終結以降、経済立て直しのため、外資を積極的に導入し「インド洋のビジネスセンター」を目指し急速な経済発展を続けておりますが、その一環として、2010 年からシンガポールを手本とした IR 事業の誘致を検討しております。当社は、日本国内でもカジノ導入を巡る議論が進んでいる中、スリランカのモデルが日本のモデルケースとなり得るかどうかについて、過去 2 年にわたりアジアキャピタル社と共同で現地のカジノ運営企業からの協力を得て調査・研究を進めておりましたところ、今般、コロombo市内でカジノ事業を展開する大手企業のランカグループから、同地においてカジノホテル建設の提案を受けました。

ランカグループは、スリランカにおいて 2 つのカジノ施設を運営し、かつ最近アジア・アフリカ地域でもカジノビジネスを積極的に展開しております。当社としましては、このように事業ノウハウを蓄積しているランカグループのプロジェクトに参画することは、将来的に事業構造の重層化を図る意味でも価値のあるものと判断し、覚書を締結いたしました。

当社は、本プロジェクトに係る資金調達を主体的にサポートする役割を担い、日本国内外で投資家を募っていく予定であります。

なお、本件 IR 関連ホテルの建設に際して、建設予定地であるコロombo市内のベイラ湖沿いの土地取得及びスリランカ政府から IR に係るライセンス認可取得を前提としております。

2. IR 施設の概要

- (1) ホテル建設予定地 : コロンボ市内ベイラ湖周辺
- (2) 敷地面積 : 9,550 m² (2,894 坪)
- (3) 客室数 : 450 室 (予定)
コンベンション会場 6 室 (予定)
- (4) 総投資額 : 290 百万 US ドル (予定)
- (5) 開業時期 : 平成 31 年 (予定)

3. 日 程

- (1) 契約締結日 平成 28 年 8 月 4 日
- (2) 建設開始日 平成 29 年 3 月 (予定)
- (3) ホテル開業日 平成 31 年 (予定)

4. 今後の見通し

本件による今期の連結業績に与える影響は、本覚書に則ったカジノホテル建設計画の具体的な進捗に応じて変動することが予想され、業績に重大な影響を与えることが判明した場合には、速やかに公表いたします。

以 上